



2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月12日
東

上場会社名 株式会社エディア 上場取引所
 コード番号 3935 URL http://www.edia.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)賀島義成
 問合せ先責任者 (役職名)管理部門執行役員 (氏名)米山伸明 (TEL)03(5210)5801
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第1四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	632	87.8	△56	—	△64	—	△65	—
2019年2月期第1四半期	336	—	△106	—	△125	—	△126	—

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 △65百万円 (—%) 2019年2月期第1四半期 △126百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	△13.67	—
2019年2月期第1四半期	△31.19	—

当社は2018年2月連結会計年度末より連結財務諸表の作成を始めたため、2019年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	1,644	386	23.3
2019年2月期	1,778	449	25.2

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 383百万円 2019年2月期 448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年2月期	—				
2020年2月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

2020年2月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)一、除外 1社(社名)株式会社A&E Games

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年2月期1Q	4,794,000株	2019年2月期	4,794,000株
2020年2月期1Q	96株	2019年2月期	45株
2020年2月期1Q	4,793,925株	2019年2月期1Q	4,043,459株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く環境におきましては、2018年のスマートフォン出荷台数が前年比2.6%減の3,116.7万台と昨年に次ぐ過去2番目の出荷実績となりました(株式会社MM総研調べ、2019年2月現在)。今後も、スマートフォンの多様化及び高性能化に伴い、スマートフォンユーザーの拡大はさらに進展していくものと予想されます。

また、2017年におけるモバイルコンテンツ市場は2兆1,109億円(対前年比113%)、中でもスマートフォン市場は2兆590億円(対前年比114%)と年々成長を続けております。スマートフォン市場の内、ゲーム市場が1兆3,632億円(対前年比115%)、電子書籍市場が2,419億円(対前年比117%)、音楽コンテンツ市場も1,033億円(対前年比110%)といずれも拡大傾向にあります(一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ、2018年7月現在)。一方で、当該ゲーム市場には多くのスマートフォンゲームが投入され、競争が激化しており、より高品質のゲームを投入するために開発費が増加する傾向にあります。また、電子書籍市場においても、インターネット上の小説等をコンテンツ化するビジネスモデルに多くの競合他社が参入しており、その作品確保の競争が激化しています。さらに、音楽コンテンツ市場においても、消費者ニーズの多様化に伴う構造変化に晒されています。

このような事業環境の中、当社グループは総合エンターテインメント企業として、各グループ会社が保有するコンテンツを軸に、当社の得意とするモバイル周辺の技術及び位置情報とエンターテインメント性を融合させた各種サービスの提供に注力して参りました。

当第1四半期連結累計期間のゲームサービスにおきましては、前期に運営移管を行った3タイトル及び当第1四半期連結会計期間において運営移管を行った1タイトルが安定稼働しているものの、前期にリリースした2タイトルのサービスを終了いたしました。

また、ライフエンターテインメントサービスにおきましては、AppStore、Google Play向け本格ナビゲーションアプリ『MAPPLUS+声優ナビ』において、アニメ「ゆるキャン△」から「各務原なでしこ・志摩リン」のキャラチェンジセットを追加するなど、再成長に向けた施策を継続しております。

株式会社ティームエンタテインメントにおきましては、前期立ち上げた女性向けCDレーベル「MintLip(ミントリップ)」より『今、隣のキミに恋をする。』、『A's×Darling(アズダーリン)』、『ハイアップ!!』の新作タイトルが堅調に推移し、加えて人気ゲームタイトルのドラマCDやサウンドトラックも売上高を牽引いたしました。

株式会社一二三書房におきましては、大人気シリーズの最新刊『転生貴族の異世界冒険録～自重を知らない神々の使徒～5』などの新刊書籍販売が依然として好調を維持しており、当社グループの売上高に大きく貢献しております。

以上の通り、収益性のあるゲームサービス及びライフエンターテインメントサービスによる安定した売上高の確保と子会社のライトノベルやドラマCDなどの堅調な推移により、グループ収益は改善傾向にあり、前期から取り組んでいるコスト削減が進展した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は632,593千円(前年同四半期87.8%増)、営業損失は56,600千円(前年同四半期は106,232千円の営業損失)、経常損失は64,843千円(前年同四半期は125,381千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は65,551千円(前年同四半期は126,119千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、当社グループはエンターテインメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,644,963千円となり、前連結会計年度末に比べ133,493千円の減少となりました。これは主に現金及び預金、売掛金、ソフトウェアが減少したことによるものであります。

負債合計は1,258,723千円となり、前連結会計年度末に比べ70,509千円の減少となりました。これは主に社債が増加したものの、未払金や借入金が増加したことによるものであります。また、純資産合計は386,240千円となり、前連結会計年度末に比べ62,983千円の減少となりました。これは主に当第1四半期連結累計期間が四半期純損失となり利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、スマートフォンゲーム業界を取り巻く環境の変化が激しく、当社グループのゲームタ

イトルの売上見込について、信頼性の高い業績予想の算定が難しいことから、業績予想は非開示とさせていただきます。なお、今後の進捗を踏まえ、算定が可能になり次第速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	853,814	769,691
売掛金	524,436	497,694
商品及び製品	38,045	37,551
仕掛品	9,727	15,729
原材料及び貯蔵品	67	83
前払費用	18,532	18,603
未収入金	20,121	19,964
未収消費税等	11,868	6,923
その他	15,145	6,618
貸倒引当金	△21,098	△21,092
流動資産合計	1,470,660	1,351,767
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	11,995	11,701
工具、器具及び備品（純額）	2,293	2,029
有形固定資産合計	14,288	13,730
無形固定資産		
ソフトウェア	131,380	114,461
ソフトウェア仮勘定	164	28
のれん	96,372	90,808
無形固定資産合計	227,917	205,297
投資その他の資産		
敷金及び保証金	62,596	71,417
その他	2,994	2,749
投資その他の資産合計	65,590	74,167
固定資産合計	307,796	293,196
資産合計	1,778,457	1,644,963

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,414	133,324
短期借入金	515,000	507,500
1年内返済予定の長期借入金	113,304	85,124
未払金	350,750	194,027
未払費用	13,060	14,114
未払法人税等	17,244	4,353
預り金	17,379	7,863
賞与引当金	15,841	27,636
情報利用料引当金	5,072	4,409
事業整理損失引当金	35,275	20,696
返品調整引当金	20,524	22,146
その他	6,155	5,872
流動負債合計	1,233,022	1,027,069
固定負債		
長期借入金	91,656	77,681
社債	—	148,800
退職給付に係る負債	4,554	5,173
固定負債合計	96,210	231,654
負債合計	1,329,233	1,258,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,167,101	1,167,101
資本剰余金	1,157,101	1,157,101
利益剰余金	△1,875,248	△1,940,799
自己株式	△89	△117
株主資本合計	448,865	383,285
新株予約権	358	2,954
純資産合計	449,223	386,240
負債純資産合計	1,778,457	1,644,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
売上高	336,774	632,593
売上原価	175,767	289,401
売上総利益	161,006	343,191
販売費及び一般管理費	267,239	399,791
営業損失(△)	△106,232	△56,600
営業外収益		
受取利息	2	4
受取補償金	1,286	—
償却債権取立益	—	530
その他	33	73
営業外収益合計	1,322	608
営業外費用		
支払利息	832	3,800
新株予約権発行費	5,720	4,968
違約金	13,415	—
その他	502	83
営業外費用合計	20,471	8,851
経常損失(△)	△125,381	△64,843
税金等調整前四半期純損失(△)	△125,381	△64,843
法人税、住民税及び事業税	738	707
法人税等合計	738	707
四半期純損失(△)	△126,119	△65,551
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△126,119	△65,551

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
四半期純損失(△)	△126,119	△65,551
四半期包括利益	△126,119	△65,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△126,119	△65,551

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはエンターテインメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。